

## 日本鉄鋼協会記事

**30年度第12回理事会** 日時：31—1—20（金）14・00～19・30。会場：協会々議室。出席者：沢村会長，蜂谷副会長，芥川，入，河上，俵，三井（代）木下，山内各理事，志村監事。松下，三島，山岡，田中各前会長。伊木，俵横山各常務委員。橋本事務局長。

**報告事項** I. 評議員，各名誉会員，渡辺義介君逝去の件。II. 第10および11回編集委員会の件（別掲）。III. 鉄鋼技術共同研究会の件。IV. 学術会議溶接研究連絡委員長より，国際溶接会議への代表候補者並びに提出論文等の推薦方依頼の件。V. 学術会議第5部長より文部省科研費審議会委員候補者につき申越の件。VI. 日本燃焼研究会より第6回国際燃焼会議の通知および研究論文公募方依頼の件。VII. 本年度秋季講演大会に関する件。

**協議事項** I. 表彰規定および事業資金規定制定の件—前回より引続き審議を行つたが，なお考究の上次回理事会において更に協議続行のこと。II. 定款および施行細則改正案補足の件—各支部長等の意見に基き改正案を一部修正補足す。III. 次期役員候補者選定の件—会長，副会長に選定方一任。IV. 日本溶接会議の運営費に関する件—配布の資料を有効に利用することとし運営費年額 10,000 円負担方承認。V. 12 月中収支決算の件—承認。VI. 12 月中入，退会者その他会員異動の件—承認。

**30年度第10回編集委員会** 日時：昭和30年12月23日（火）16・30～21・00。会場：協会々議室，出席者：芥川理事外13名。

**報告事項** 1. 昭和30年12月号は11月29日完成発送済み。2. 昭和31年1月号は12月30日迄に完成の予定。

**協議事項** 1. 昭和31年3月号（講演大要）プログラム編成の件—編成済み（原稿数127）。2. 会誌交換の件—（1）ユーゴスラビヤ Sleorenstoi（鋳物）と交換申込の件—交換のこと。（2）日本材料試験協会誌と交換の件—交換のこと。（3）ソ連との文献交換について—ソ連代表部を通じて交渉のこと。

**30年度第11回編集委員会の件** 日時：昭和31年1月24日（火）16・30～20・00。会場：協会々議室。出席者：河上理事外8名。

**報告事項** 1. 昭和31年1月号は12月29日完成発送済み。2. 昭和31年2月号は1月31日迄に完成の予定

**協議事項** 1. 昭和31年4月号 原稿選定の件—選定済み。2. 講演予定の寄稿論文の件—講演後再寄稿のこと。3. 会員より訳書出版または会誌に分割掲載方依頼の件，並びに抄録寄稿問合せの件—出版及び分割掲載は見合せのこと，抄録寄稿は自由とす。

4. 国際燃焼会議より燃焼に関する研究論文募集の公知方依頼の件—2月号会告として掲載。5. 俵賞受賞候補者の件—推薦済み。サイエンス・レビューの件—別紙リスト（省略）により分担

**31年度秋季講演大会開催地決定** 昨年10月開催の理事会において広島市開催を内定したが，今回中国四国支部より賛同の旨回答があつたので，本年の秋季大会は広島市において開催のことに確定した。

**関西支部行事** I. 30—8—27 工場見学会および講演会開催，見学工場：神戸工業 K. K. 神戸工場，講演：真空管の工業への応用。神戸工業 K. K. 神戸工場真空管材料部長，有住徹弥氏，参集人員約50名。

II. 30—9—23 工場見学および講演会開催，見学工場：島津製作所三条工場。講演：最近の計測器について。島津製作所計器工場副工場長兼技術課長相川長彦氏，参集人員約65名（なお同日同工場にて支部理事会を開催した。）

III. 講演会開催 30—12—6。会場：大阪府立労働会館。講演：1. 最近のプラスチック材料について。大阪市立工業研究所。大島敬治氏。2. 我国ワイヤ・ロープ界の現状，帝国産業 K. K. 西岡多三郎氏。聴講者約50名（なお同日同所において支部評議員会を開催した。）なお，関西支部では31年1月25日支部総会を開き支部規則改正，理事，評議員の改選が行われ又，事務所，支部長等も次の通り更新された。——事務所：京都大学理学部金相学研究室内；支部長岩瀬慶三；常任理事森田志郎。

**鉄鋼技術共同研究会** 31—1—9～10。両日に亘り第3回品質管理部会を神戸市川崎製鉄 K. K. 葦合工場において開催。各議題について活発な研究討議が行われた。